

令和4年度 第2回神栖市生涯学習推進会議 会議録

日 時 令和5年3月17日(金)
午前10時～11時15分
場 所 分庁舎 2階 大会議室

■出席者

渡邊委員, 野口(さ)委員, 向後委員, 野口(豊)委員, 羽生委員, 野口(壽)委員, 吉岡委員,
小松原委員, 五十嵐委員, 松本委員, 塙委員(11名)

佐々木教育次長

文化スポーツ課 新井課長, 加納課長補佐兼社会教育主事, 沼田係長, 高安主事(4名)

■欠席者

白鳥委員

■傍聴者(定員10名)

0名

■会議内容

1 開 会

2 案 件

(1) 実施状況報告書に対する質問への回答

委員からの生涯学習関連事業実施状況報告書に関する質問に対する各課の回答一覧を配布し, 見方の説明を行いました。

(2) 生涯学習市民アンケート調査結果について

今年度実施した市民アンケート調査の結果の概要について事務局より説明を行いました。

【質疑応答】

委 員	回収率が32.4%となっていますが, 関心度もあるかと思いますが, 関心度としてはどうなのでしょう。
事 務 局	統計として, 人口10万人程度の市町村では2000人の市民に対して, 約400人(約2割)程度の回収率があると, 傾向が計れるといわれております。関心度が高いかという部分については, 今すぐに回答することができません。
議 長	今までとアンケート調査の方法を変更して行った調査となります。今までのものは公民館などの公共施設にアンケート調査票を設置して回収していましたが, 今回は無作為抽出で2000人を対象に行った調査となっています。
委 員	ボランティアといっても対象がいろいろあるかとは思いますが, この3年

間のコロナ禍で減ってしまったのでしょうか。それから、最後の満足度に関する設問について分からないという回答が一番多いことについてどういった判断をするのかなと疑問に思いました。そして、最後の自由記述の施設に関することの部分で、サークルにかかる費用を集めたら、施設側から無料で貸している施設なので、お金は集めないでほしいと言われた、とあると思います。費用については、いろいろな考えがあるかと思いますが、この文章だけでは状況の判断ができませんが、ある程度各施設で統一を図った方がいいのではないかと感じました。

議 長
委 員

まずはボランティアについてどうでしょうか。

文化協会に関しては、この3年間思うように動けなかったという部分があって、会員数は減少しています。

議 長

コロナ禍であったことと、高齢化や意欲の減少という側面があったかもしれませんね。

次にインターネットについて、使い方がわからないとか、いろいろな意見が出てきていますが、歳をとってくると分からなくなってきました。使い方に追いつくことができません。

事 務 局

公民館でも、インターネットやスマートフォンの使い方などの簡単な講座もいくつか行っているんですが、足りていない部分があることも感じています。コロナ禍ということでオンラインによる学習が増えたこともあり、高齢者の方にもオンラインの講座へ参加してもらえるような取り組みについて検討していくことを公民館等にも提案していきたいと思います。

また、先ほどの施設に関するご意見について、あの文章だけの状況の判断はできませんが、市の公民館等については、営利目的の場合には貸出を行っていません。ただし、会やサークル等における活動費（材料費等）について、回収してはいけないということはありません。これは公民館において統一された内容となっています。

議 長

スマートフォンの使い方について、携帯ショップなどに質問に行くことがあります。そもそも聞くことが難しいことがあります。どこかに常時人がいて、何でも聞けるという環境があったらいいと思います。

委 員

分からない人にとって、一番してほしいことは、来てもらって、自分の機器などにあわせて疑問を解決してくれることではないかと思います。それこそ常時人がいるではないですが、連絡をしたら、誰かが派遣されてきて、自分にあった解決法などを教えてもらえるなどのボランティアがあったら需要があるのではないかと思います。そのボランティアをやるとなったら、何がネックになってくるのかと考えたときに、一因として交通費などの費用があると思います。アンケート調査の自由記述部分にも、交通機関や交通費などの問題を書いている人を見受けられました。

議 長	ボランティアで、となると、高い技能や技術が求められるかもしれませんね。無料というのも難しくなってくるかもしれませんね。
委 員	パソコンやスマートフォンの初期設定等の設定などは難しいかもしれませんが、それこそ、調べ物をしたいけど、その方法が分からないとか、本当に基礎の部分であれば、教えられる市民は多いと思います。ただ、ボランティアを行うとなったときに自分で交通費をかけてまで行かうと言われると即答できない部分があるので、そういった財政的な支援があるとより活発な活動ができるのではないかなと思います。
委 員	このコロナ禍において、ツールの1つとして進められてきたので、今後も生かしていったほしいと思います。初心者講座を開講するとしても、直接出向かなくてはならないなど、ネックになる部分はあると思います。今後の生かし方に期待したいと思います。
議 長	何かの機会にこういった意見があったと共有してもらえたらと思います。
委 員	資料4ページ【2】に生涯学習という言葉の認知度についての設問がありますが、生涯学習や社会教育など、似たような言葉がたくさんありますので、生涯学習とは何だ、ということが分かるように周知をしてもらえたらありがたいと思います。
事 務 局	前年度の会議の際に、アンケートの素案を委員の皆様にご確認いただいた際に生涯学習が分からない人に向けて、分かりやすく生涯学習を説明したものを一緒に付けた方がいいというご意見をいただき、今回のアンケート調査票と一緒にA4 1枚でこういったことも生涯学習だというような内容のチラシを同封しております。
委 員	資料17ページ【11】のその他の意見に70歳を過ぎたので、生涯学習はやめたという意見があって、衝撃を受けました。自分は75歳を過ぎた今でも国家資格に挑戦をしているので、この意見はとてもショックでした。
事 務 局	この方はそういったご意見ですが、生涯学習と言葉にあるとおり、生涯行うものであってもいいと思います。
議 長	生涯学習という言葉が、活字として重くのしかかってしまっているのではないかと思います。漢字で学習とつくし、難しく考えてしまう人が多くなっているとこのアンケート調査からも読みとれますが、そういう方には、生涯学習とは、日常生活であると考えてもらえれば、もっと生涯学習という言葉について理解がしやすくなるのではないかと思います。
委 員	個人的な意見ですが、生涯学習とは、2つに分かれるのではないかと感じています。1つは若者世代、もう1つは年寄りに分かれると思います。年寄りの方は、「教育ど（今日、行くど）」などと冗談も言われていますが、その場に出向くということ自体が教育になっているのではないかと思います。若者についても自分で、インターネットで、など部屋で学びたい人も外に出向き

たい人もいると思います。いろいろな講座を多種多様にというよりかは、若者は学校や仕事で忙しく、土日や休日に生涯学習をするかといったらしないと思います。限られたものを若者向けにやって、高齢者向けのものは、外にでるということを目的に、楽しくできますというような表現をしてもらえたら良いのではないかと思います。

委員

私は、シニアクラブ連合会でお年寄りを相手にいろいろな事業を行っていますが、とにかくいろいろな行事に参加したいという気持ちを感じます。コロナ禍においてさまざまな制約を受けましたが、対策を徹底しながら募集をかけると、だいたい400人以上の方がいつも集まります。外に出たいとか、みんなとふれあいたいという気持ちを感じます。ですが、神栖はどうしても交通の便が悪いので、参加が難しいというような声も聞こえることがあります。そういった部分があるので、年寄りとは若者分けて考えず、若い人に助けてもらいながらだと、年寄りも生涯学習により参加しやすくなるのではないかと思います。

議長

先日、80歳の老人ホームにいる方で、脳梗塞をして、右半身麻痺になった方のお手伝いに行きました。もうだめだ、だめだと1年半くらい言っていたのですが、左手が動くなら何かやりなさいと言って、ぬり絵を始めたそうです。今は、生涯学習というと講座を受けるというようなイメージが強いと思いますが、家で1人でコツコツやることも生涯学習ですし、読書をするのも生涯学習です。実際にはやっているはずなのに、こういったアンケート調査では、生涯学習という単語を使わなくてはならないために、混乱してしまうような側面があるのかと思います。

委員

現在は防犯の問題もあるのかなと思っています。先日も学校に不審者が侵入したとか、切りつけられたとか、そういった事件があって、学校には防犯対策が求められ、どんどん内に、守ることが必要となっていていっていると思います。自分たちが子どものころは、学校から歩いて帰ることが当たり前でしたが、今は車で送迎をしているところも多く見かけるようになりました。子どものころから地域や人と関わるのが減ってきていることを感じています。そういった影響もあり、1人でいることが好き、楽しいと思う人も増えているのかなとも思います。例えば、シニアクラブでの活動を小中学校へ出向いて披露したり、一緒に活動するなどできたら素敵だなと思います。地域の人に神栖市の歴史を教えてもらったりすると、記憶にも残るし、生涯学習にもなっていくのではないかなと思います。市や教育委員会、学校にはそういった人を繋げることもこれから行ってほしいと思います。

議長

今のお話は生涯学習といえば生涯学習なんですけど、そこがまた難しいところで、学校教育や社会教育にもかかってきてしまう部分になります。

事務局

生涯学習推進計画内にも、学びを生かすということで基本目標をたてております。

委員

ボランティアで小学校1年生に昔遊び、お手玉やあやとりなど自分たちにできることを伝えようとお手伝いさせていただいたり、イモ植えなども一緒にしています。また、先日中学校から依頼され、卒業する子たちに何か思い出になることをできないかと、浴衣の講習会をしてきました。内容は、着方ではなく、私が1番大切にしている着物のたたみ方を伝えてきました。私たちにできることで、生涯学習もかねて、活動をしてきました。

3 その他

次年度の会議については、改めて通知することを伝達しました。

4 閉会

— 午前11時15分 —